



今日のトピック **インド株式市場はもみあい（2019年9月前半）
GDP成長率は下振れも19年後半に持ち直しへ**

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	9月11日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.50	2.0	0.8	▲5.5	▲2.0
ルピー/米ドル (ルピー)	71.67	▲0.6	1.2	2.6	▲1.4
金利 (%)					
政策金利	5.40	0.00	0.00	▲0.85	▲1.10
10年国債利回り	6.68	0.13	0.18	▲0.67	▲1.50
株式指数 (ポイント)					
SENSEX	37,270	1.5	▲0.8	0.6	▲0.4

(注) データは2019年9月11日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式、通貨】 (円/ルピー)



(注) データは2018年9月11日～2019年9月11日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント1 株式市場は8月以降もみあい続く

- 9月に入り、インド株式市場は下落後、持ち直す展開となっています。8月末に発表された4-6月期の実質GDP成長率が予想を大幅に下回ったことを受け、代表的な株式指数であるSENSEX指数は、月初に急落して始まりました。しかし、米中協議の再開への期待などから世界の株式市場が上昇したことに加え、政府による追加の景気刺激策への期待もあり、SENSEX指数は戻り歩調にあります。8月以降、SENSEX指数は比較的狭いレンジでもみあいが続いています。

ポイント2 GDP成長率が大幅減速

- 8月30日に発表された4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比+5.0%と、市場予想の同+5.7%を下回り、1-3月期の同+5.8%から鈍化しました。成長率鈍化の主因は個人消費の落ち込みによるもので、4-6月期は同+3.1%と、1-3月期の同+7.2%から大幅に減速しました。この背景にはノンバンクを中心とした金融機関の貸し渋り問題があるとみられます。インド政府は同日、金融機関の貸し渋りが景気を下押しする一因だとして、10行の国営銀行を4行に統合する案を発表しました。

今後の展開 景気は2019年後半に持ち直しへ

- インド準備銀行は金融面で景気のサポートに動いています。8月の金融政策決定会合で、予想を上回る幅の追加利下げを行うと共に、金融機関の貸し渋り問題に対し、ノンバンクへの貸し出し規制の緩和策を発表しました。インド政府が追加の景気支援策を打ち出したことも後押しし、7-9月期以降個人消費は緩やかに回復に向かうと考えられます。インド景気は2019年後半に持ち直すと考えられ、株式市場は底堅い推移が期待されます。

ここもチェック! 2019年9月 6日 アジア・マーケット・マンスリー (2019年9月)
2019年8月30日 インド株式市場は月下旬に反発 (2019年8月後半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。